共に生きる地域生活を，障害者のノーマライゼーションを

〈サロン・あべの〉

ミニ新聞 NO.2
発行日 昭和61年8月11日(月)
発行者 〈サロン・あべの〉運営委員会

ありがとうございました
あべのカーニバル参加
おかげ様で成功しました。

7月27日(日)午後(3時〜9時)より、阿倍野区役所うらにある工芸高校グランドにおいて第13回"あべのカーニバル"が開催されました。グランドの中央に舞台があり、中、高生、社会人のグループの吹奏楽やバトン演技等多くの催しが行われました。グランドの周囲は、企業や個人の出店がずらりと並びにぎやかな縁日風景が見られました。その中の一偶に〈サロン・あべの〉も店を出しました。準備期間が短かくどれだけのことが出来るか不安でしたが、地域の方々とサロンの出会いを第一に考えることにして初参加に踏みきりました。売る品物は集るかしらと心配していましたが、阪南ボランティアグループ、ピエーロ、関係のボランティアさん、サロン関係の方々等23名のご協力が有り、304点ものご寄贈品をいただきました。品物が多く集って嬉しい大きくなるにつれ、今度は運ぶ悩みが出てきました。これを解決して下さったのが、赤松様、山架様、吉田様方とサロンの辻本様でした。搬入時に4台(正午)、搬出時(夜9時以後)に3台と、小寺様のお手伝いをいただきました。多くのみな様方のお力添えをいただきました、〈サロン・あべの〉の店開きが出来ました。

嬉しかった日除けテント

夏の太陽がこれ程嬉しいものとは知らなかった私達は、日除けテントなど念頭になく開店準備を始めましたが、ご令もせぬ内に肌はヒリヒリ、日はチカチカ、この先まともに販売していけるのか心配になってきた頃、植木屋さん、ガール・スカウトの方々を連れて、小倉さんが日除けテントを張りに来て下さいました。その時の日影は砂漠のオアシス以上に有難いものでした。お礼の言葉も「感謝、感激!!」以外にはありませんでした。

反省会では、来年のカーニバル参加はテント準備からと一同一致した意見が出ました。

千客万来

用意した〈サロン・あべの〉のチラシ(100枚程)も日暮れと共に無くなり、お買物をして下さった方々の多さに喜びあいました。又、お忙しい中〈サロン・あべの〉の店を訪れて下さるお顔見知りの方々のお言葉は、暑さと疲れを吹きとばす清涼剤となって、本当に嬉しく励みになりました。

ご近所はお馴染の方々

〈サロン・あべの〉の右隣には、大島さんが「わかまち」の店を出し手作り焼物を売っておられました。又、お向いは、連絡協議会のテントで、手作りの品々が並び、お顔馴染の方々がおられ、こちらにも何かとお声をかけて下さり、心強い思いがしました。

〈サロン・あべの〉7月の出会
国民年金改正法について

第4回〈サロン・あべの〉は、7月19日(土)午後1時より育徳コミュニティセンター研修室において、講師 高橋芳樹氏を迎えて、61年より改正となった「国民年金」についての話しを伺いしました。年金は、老人、寡婦、障害者等にとっては所得の柱となるものであるから、生活保障としての金額を受給出来ることが望ましい。改正後は、一人一年金となり、基礎年金は全て5万円。年金受給は、各人の状態により種々異ってくるものなので、疑問が有る時は、各々の専門の人にじっくり想談するのが一番良い等々、一般内容から障害者年金について、参加者の質問に答えながら解りやすく年金の話しをしていただきました。

感謝をこめて会計報告

多くの皆様方のご協力を得て〈サロン・あべの〉の出店は予想以上の売り上げが有り、残品もゼロという好成績を持って終りました。

ご寄付、カンパ、売り上げ金を含めて金四一、八八〇円の収入がありました。この収益はサロン運営費に当てさせていただき、よりサロン活動へと発展していけるよう考えてまいります。
ありがとうございました。

〈サロン・あべの〉予定

9月6日(土)午後3時 研修室 サロン運営委員会、
9月20日(土)午後1時 研修室 〈サロン・あべの〉9月の出会い「コミュニティケアとボランティア」

編集後記

○委員の皆様お疲れ様でした。お昼前から夜10時迄、暑さにめげず笑顔でガンバッテ下さって、ありがとうございました。
○ピエーローの岡様が、8月でコーディネーターをやめられ、9月から前田様が来られます。宜しくお願いします。
○私ども[illegible]バル参加[illegible]、委員二世もガンバってくれました。惣君みゆきさんありがとう。来年もお願いします。
○奥田様にお借りしたテーブル助りました。来年もお願い出来るよう宜しくお願いします。